

第81回 秩父蓑山(美の山)ハイキング

大河原 敏生

(有)大河原商店(第10支部)

平安時代の歌人、在原業平の『世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし』という歌はとても有名ですが、お花見を兼ねての今回のハイキングはまさにこの心境「関東の吉野山といわれる桜の名所」とのご案内でしたので落ち着かない日々を過ごしての参加です。

4月9日(日)前日から天候は、今一つですが参加者は、幹事の磯部さん、石井さん 乾さん 若林さん 原さんの奥さま 山本さん と私で7名の参加で秩父鉄道 和銅黒谷駅集合でしたが、池袋から直通で長瀨方面に行ける電車は8時5分発の快速急行位で、これを逃すと2～3回の乗り継ぎを覚悟しなければなりません。池袋駅が集合場所のようでした。

西武鉄道沿線は桜が満開 期待が膨らみます。ただ残念なことに空は明るくなったかと思うと雨が混じる車窓に、一喜一憂しながら「和銅黒谷駅」に到着しました。和銅とつくように日本最初の流通銅貨幣「和同開珎」の原料の銅を露天掘りした遺跡があり、その場所を見学し、美の山公園を目指します。雨のせいで足元の悪い中を滑らないように慎重に登ります。

今年は4月というのに寒い日が続いていますが青々とした新芽が雨露をまとってとてもきれいです。歩き始めて1時間半山頂展望台へ到着しました。展望台の1階でお花見と行きたいところでしたが麓では満開の桜もまだ蕾でした。桜の蕾の後ろに武甲山や両神山をはじめとする秩父の山並みと、街並みをぐるりと見渡せる景色は最高でした。

今回の宴会はすごい。薫り高い入れたてのアールグレイ紅茶 黒ビールあり、日本酒も2種類、ウイスキーに電気ブラウン、極めつけは芋焼酎「魔王」まで、おつまみもでるはでるはカモの燻製 ついついお酒が進みます。ここで終わりならいいのですがこれから約70分「親鼻駅」までの下りの予定でしたが、今日は、「美の山桜まつり」のイベントの最終日。よほど日頃の行いがいいのか「皆野駅」行きの無料シャトルバスに遭遇。乗車OKのお許しが出来、皆野駅へ。

よいことは続くもので乗り換えの秩父駅では、「秩父ってんべえウオーキング」のイベントに遭遇。中学生の女の子達に、ハイタッチのお出迎えと、秩父特産のイチゴの試食。ハイキング同好会始まって以来の出来事だと思います。秩父駅よりの車中で2度目の宴会。これでほぼ持ち寄ったアルコールも完売、飯能では製麺所でおみあげのうどんを仕入れ駅前の居酒屋「磯丸水産」で「あわび」や「殻付きホタテ」を含む海鮮三昧の打ち上げです。原さんのご主人も町会の寄り合い終わりで合流いただきました。桜は残念でしたが楽しいハイキング？でした。最後に磯部さんより「次回は少々きついコースにします。」とのお言葉をいただき解散しました。